



温故知新



グリーンサイトの更新にご協力ください!!



① 健康診断は1年に1回必ず受けて下さい。

・健康診断は1年に1回受診が必須となっております。特に最近は私病によって現場で倒れてしまう人も少なくありません。

事業主が従業員の健康状態を把握しておくためにも必ず受けるようにしてください。そして、受診したら必ず結果報告をお願いします。

② 有効期限のあるものにご注意下さい。

・各資格、建設業許可、労災、在留カード等々。有効期限のあるものは必ず更新をお願い致します。

期限切れのものがあると新規入場の際にはじかれてしまう可能性があります。

現状切れているもの、もうすぐ切れそうなもの、把握していない方は把握してください、わからなければ一言頂ければお調べします。

③ 個人情報の変更は報告をお願いします。

・諸事情により、住所や電話番号が変わった。緊急連絡先が変わった。など、変更があった際には必ず連絡をお願い致します。そのままの状態でも万一が労災などが発生してしまった場合、連絡が取れないなど大変な事態となります。

必ず最新の情報が登録されているようにしてください。

各現場において新規入場時に、有効期限が切れている。健康診断が切れている。等の理由で現場入場できない状況が出てきてしまうかもしれません。そういった事態を未然に防ぐためにも、グリーンサイトは最新の情報が登録されているようによろしくをお願いします。



よろしくおねがいします!



【今号の主な内容】

- P① グリーンサイト更新の件
- P② 研究会PT
- P③ 年末年始労働災害防止月間
- P④ ことわざ



発行

野田工業 株式会社
東京都中央区銀座6-6-19
TEL : 03-3572-1866
FAX : 03-3575-0420

ことわざ・格言にならう安全衛生訓

● よく泳ぐ者は溺れる ●

・ベテランほど安全に配慮を



「よく泳ぐ者は溺れる」も意味は、ベテランとか熟練者といわれるような人は、その経験や技術に自信を持ちすぎて、かえって災難を招くことがある、という意味です。

「河童の川流れ」、「川だち(育ち)は川で果てる」、「山師、山で果てる」など、昔からベテランや熟練者の戒めとして使われてきた言葉です。

高所作業で「安全帯など面倒だ」とか、プレス作業で「安全装置など使っておれない」、有害作業で「マスクなんか要らない」とか、自動車の運転では運転ルールの無視など、その道のベテランほど、あえて危険と紙一重の行動をとる場合が少なくありません。

技術が上達すれば上達するほど、困難で危険な仕事も多くなり、後輩たちも見習いますから、よりいっそう安全には気を配り、進んで安全対策を実行すべきではないでしょうか。

くれぐれも、「よく働く者は職場で果てる」ということのないように気をつけましょう。



【 職長会のお知らせ 】

- | | |
|------|----------------|
| ★日 時 | 2019年12月20日(金) |
| ★時 間 | 18時00分～ |
| ★会 場 | 銀座ユニーク 3階 |

令和元年度**建設業年末年始労働災害防止強調期間実施要領**

◎本期間:令和元年12月1日～
令和元年1月15日

◎後援:厚生労働省、国土交通省

建設業年末年始労働災害防止強調期間スローガン

無事故の歳末 明るい正月

会長メッセージ

初めに、6月と7月の豪雨災害、10月の台風19号など、全国に甚大な被害を及ぼした自然災害にてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、「令和」の時代となり、初の年末年始を迎えます。当協会では年末年始の労働災害防止を目的に、本年度も12月1日から1月15日までを「建設業年末年始労働災害防止強調期間」と定め、会員各位が取り組むべき事項を盛り込んだ本実施要領を作成いたしました。

建設業における労働災害は、会員各位をはじめ関係者の熱意と日々の地道な安全衛生管理活動により、その発生件数は長期的に減少傾向にあります。10月の速報値では、死亡者数は173人で前年同期比30人減、休業4日以上之死傷者数は9,790人で前年同期比153人減と、共に減少しております。

一方、そのような中でも建設業の労働災害で最も多い墜落・転落災害は全体の約4割を占め、フルハーネス型安全帯の円滑な導入・定着を軸とした、墜落・転落災害防止対策のより一層の推進をお願いするところです。

本年は台風や豪雨による被害が全国各地で発生し、これら激甚化する自然災害からの復旧・復興工事に加え、国土強靱化を実現するためのインフラ整備工事等も進んでおりますが、これから迎える冬季には凍結や降雪に伴う労働災害や火災による事故、年末年始の工事の輻輳化など、労働災害発生リスクの高まりが懸念されます。

このような状況を踏まえ、今一度、労働災害防止活動の強化に取り組んでいただきたいと思います。その一環として、店社及び現場でのリスクアセスメントの確実な実施と、より快適な職場形成を目指して、改訂された「建設業労働安全衛生マネジメントシステム」（ニューコスモス）の積極的な導入・運用を図ると共に「働く人の健康の保持・増進」に向けて、建災防方式健康KYや無記名ストレスチェックなど、現場のメンタルヘルス対策も積極的に進めてください。

会員各位をはじめ関係者全員が一丸となり、経営トップのリーダーシップの下、本実施要領に示された事項に取り組んでいただき、「無事故の歳末 明るい正月」のスローガンの下、無事故・無災害で新しい年を迎えられますよう、心より祈念申し上げます。

令和元年11月 建設業労働災害防止協会
会長 銭 高 一 善



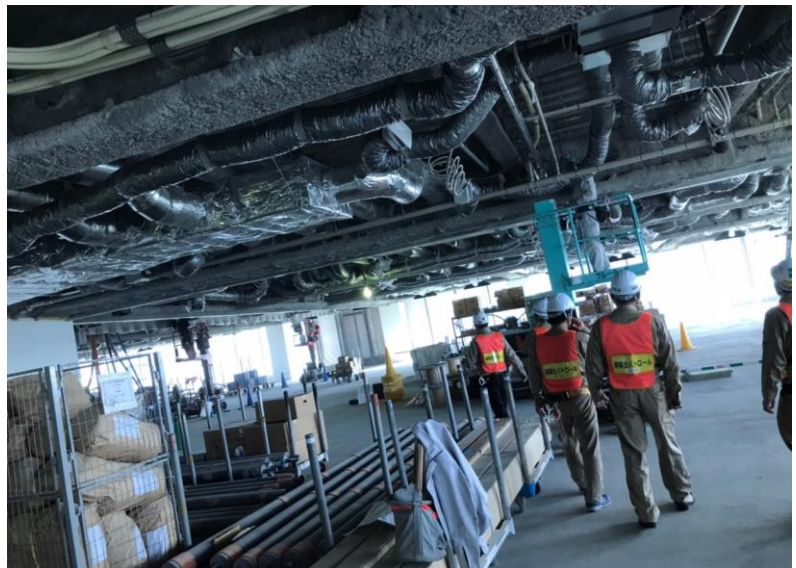
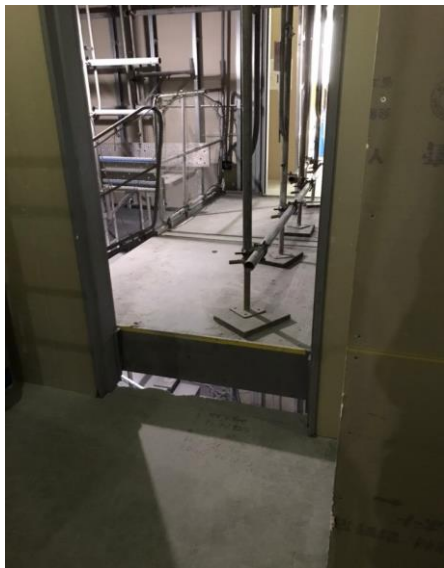
研究会パトロール



2019年10月23日（水）に野田工業株式会社で安全パトロールを実施致しましたので報告させていただきます。

【参加者名】

関口 嘉之、関口 浩司、神尾 幸二、中田 克美、小川 裕二、関口 芳生



○ パトロールの指摘事項 ○

- ・階段部分に隙間がありました。足は入らないが、道具等は落ちる可能性がありますので注意をお願いします。また、全体的に段差が多い印象ですが、トラテープ等の注意喚起が少し少ないと感じました。つまづき転倒には十分注意して下さい。
- ・配電盤の消火器の取扱いが雑に感じました。離れた場所に置いてあったり、移動されてるものが多々身請けられました。移動した際には必ず定位置に戻すようにした方が良いかと思われます。